

明けまして

おめでとうございます



よう
きなさったね

法善町 大矢 和子さん

毎日寒い日が続きますが、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
さて私は、長岡市に生まれ育ち、ここ和島村には、昨年の暮嫁いで参りました。ここ和島村は長岡市に比べ海が近く、穏やかな山々西山連峰に囲まれ、平地には水田が広がる「和」という文字がとても似合う所と思います。そのおかげでしょうか、気候も冬は雪が少なく、春は暖かくなるのが早く、夏は涼しく、秋は雨が少なく過ごしやすい日が続くという近隣市町村の中でも最も過ごしやすい土地ではないでしょうか。そしてその穏やかな土地柄のせいでしょうか、よその土地から嫁いできた私に、気持ちよく接して頂き大変感謝しております。

しかしこの村での生活でとても残念に思えるところは、やはり交通の不便さではないでしょうか。車の運転のできない方や、お年寄り、若者などもっと自由に行動できるようになれば、もっと活気のある明るい村になるのではないかと思います。
昨年オープンして大成功したオートキャンプ場につき、もっと人が集まり楽しめる施設と、それをうまく運営する村の人達がいれば、きっとどこにも負けない素晴らしい村になると思います。
私の様なものがさしですが、いい事ばかり書いてしまいましたが、私だけでなく村の人達が前にもましてこの土地を好きになれる様な村づくりを進めていってほしいと心より願っております。

和島村の風土や習慣にまだ不慣れのため皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、末長く宜しくお願いたします。

人口の動き

	11月末人口	
人口	5,389	(-18)
男	2,613	(-12)
女	2,776	(-6)
世帯数	1,285世帯(±0)	
	()内は前月比	





年頭の御挨拶

和島村長 久須美 逸郎

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、御家族お揃いで輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

昨年五月に就任以来、村政に対し温かい御理解と絶大な御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、早々に阪神・淡路大震災が発生し、地下鉄サリン事件、金融機関の経営破綻等日本中を震撼させた歴史に残る最悪な年でありました。和島村におきましても、七月に集中豪雨による水害が発生し、大きな被害を被りました。

また、長引く経済不況の中で企業のリストラ・新卒者の就業難が紙面を賑わし、国際面でも日米経済関係の調整やウルグアイラウンド・APEC開催・日本の常任理事国入り問題等、懸案・課題が目白押しでありました。

このように、内外の諸情勢の大きな変化に対応し、来る二十一世紀に向けての更なる発展のため、政治・行政・経済システム全般の見直しが求められております。

特に、行政におきましては、地方分権が時代の大きな流れとなつていくと共に、地方財政を取り巻く環境が極めて厳しいものがあることから、地方公共団体が社会経済情勢の変化に的確に対応し、地方分権の時代に相応しい簡素で効率的な改革を行つて行くことが要請されております。このようなことから、昨年は昭和六十年以来の行革推進委員会を設置し、御検討をいただいている次第であります。

しかしながら、無駄を省くことはともかく、人間の価値観は多様化し、経済力に見合った生活の質的な向上が求められている今日、これらに対処するため住民のニーズを反映した行政をきめ細かく展開し、個性的で多様性に富んだ村づくりを進める必要があります。

私は、公約の中でお約束申し上げた「開かれた村政」を実現のため「村民室」を設置し、それら対応を図るべく対処してまいりました。おかげ様で多くの方々からおいでいただき、御相談をいただいた中で、御助言・御指導をいただいております。誠に初めての試みでありますので、今後

は、現在の対応を踏まえ、村民室の機能・役割を試行錯誤の中で確立して行く所存でございます。

また、老人福祉に關しましては昨年九月定例議会におきまして、ショートステイ・デイサービス等の支援サービスの推進から老健施設「てらどまり」に十床分のベットを確保することを上程し、議決をいただきました。今後は、併設される予定の特養分のベット確保に向け対応を図る所存であります。

さて、和島村も昨年立村四十周年を迎え、いよいよ壮年期に入りました。

懸案であります「道の駅」も昨年八月三十日に登録認定をいただき、今後国道一六号バイパスの早期着



「道の駅」として登録された「良寛の里」

工を目指すのみとなりました。また、昨年オープンいたしました



盛況だった「オートキャンプ場」

落排水が完工し、全面供用をいたしました。本年から中沢地区の農業集落排水に着手いたします。

一昨年から面工事に入っております再圃場整備も、昨年、小島谷地内と上桐地内の一部が終了し、いよいよ上桐・北野・島崎地内へと進んでまいります。

和島村の財産と申しても過言ではない八幡林遺跡が、昨年三月国の史跡指定を受け、その重要さと共に子々孫々に伝える財産と認識するとこ

ろであります。今後奈良崎の一部を含め、七箇所の発掘予定箇所がございますが、バイパスの早期完工と絡み早期調査終了を願うものであります。

題がありますので、いくつかの候補地を選定し、村民の皆様の御意見をお聞きした中で、場所の決定をするという考えから、検討委員会を設置し、PTAの皆様は勿論のこと各地区・各階層等幅広い御意見を拝聴したデータベースを基に御検討いただき、これに対応する所存でございます。

限られた財源の中で、また、財政再建が強いられる現実を踏まえ、二十一世紀に向かう村づくりに村民の皆様と一体となって邁進する所存でございますので、何卒一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。併せて皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしました。新年の御挨拶といた



します。



新年のごあいさつ

和島村議会議長 高橋 均

明けましておめでとうございます。村民の皆様方の輝かしい新年を寿ぎしことを拝察し、誠に慶賀にたえません。

昨年は、皆様方より村議会に対し、深いご理解とご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年、一昨年と低温冷夏に伴う冷害から早害、水害と稲作に大きな被害をもたらし、また、昨年十一月からは昭和十七年に制定された「食糧管理制度」が改正されて、「新食糧法」が施行されました。

進む後継者の高齢化とともに、農業全般にわたり、大きな転換が生じてまいりました。

本年は、昨年に引き続き、「県営ほ場整備事業」が継続され、農業経営改善による「認定農業者制度」がスタートしました。

昨年十月には六名の「認定農業者」が認定され、活動が期待されています。

また、昨年三月八幡林遺跡が文化庁から文化財保護法による「八幡林官衙遺跡」として史跡の指定を受け、八月には国道一六号線バイパス工事に伴う建設省の「道の駅」に登録されました。

昨夏オープンした和島オートキャンプ場は、延べ一万一千人の来場者を数えました。

このようの中で、国道一六号線バイパスは良寛の里まで平成九年に供用開始予定であり、遺跡公園、和島オートキャンプ場、良寛の里の一体化をめざし、観光の和島村とし、「長岡地域広域市町村圏」の一役を担ってまいります。

清潔で快適、文化的な生活を営むために、「農業集落排水事業」、「公共下水道事業」が継続推進されます。

本年も、村民の皆様方のご支援とご理解を賜りたくお願い申し上げます。平成八年が村民の皆様方が健康で幸せ多い年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。



明るい家庭づくり運動作文

和島村青少年育成村民会議
和島村教育委員会



大こんのかわむき

桐島小一年 にしむら みほ

わたしがかいものからかえってきたとき、おばあちゃんが、車このとなりで、一人で大こんをほしていました。

「みほちゃん、大こんのかわむきして。」

「おばあちゃんがいいました。わたしは、」

「うん、いいよ。」

と、へんじをしました。うちの中にはいると、だいどころのテーブルの上に、大こんがおいてありました。わたしは、

「わあ、大こんがいつばいだな。」

おばあちゃん、はやく、しょうよ。」

と、いいました。おばあちゃんは、まず、ねっこのほうと、はっぱをきつてくれました。

「はい。」

「はい。わたしに大こんをわたしにわたして、わたしは、ピーラーで、かわをむきはじめました。大こんは、ふといたので、よくもてません。ときどき、ピーラーがツルツとすべって、まがってしまいます。ゆびにあたって、かわがむけそうになりました。

「大じょうぶか。」

と、おばあちゃんが、こえをかけたくれました。

「大じょうぶだよ。」

と、こたえて、またわたしはつづけました。むきおわった大こんを、

「はい、おばあちゃん。」

「はい。おばあちゃんにわたしにわたして、おばあちゃんにわたしにわたして。おばあちゃんは大こんをたてに二つにきりました。それから、白いひもでどんどんしばりはじめました。十二ほんぐらいをひもでつなげました。」

「みほちゃん、これもつてね。」

という、おばあちゃんはそのとんで、はしごに上がりました。わたしは、せのびをしながらつなげた大こんをもっていました。おばあちゃんは、わたしがもっていた大こんをうけとって、つるしました。

「カリカリにして、お正月にたべようね。」

と、おばあちゃんがいいました。わたしは、みんなでたべたいな、と、おもいました。

「おいしくなるといいね。」

と、おばあちゃんがいいました。

わたしは、お正月がはやくこないかな、とおもっています。おばあちゃんといっしょにつくったカリカリは、どんなあじがするか、とつてもたのしみです。



上のおばあちゃん

島田小一年 くすみ ゆりか

わたしのうちには、二人のおばあちゃんがあります。二人もおばあちゃんがいる、とてもうれしいよ。上のおばあちゃんは、八十五歳です。おばあちゃんは、いつもにこにこしています。わたしは、おばあちゃんがわらっているところが好きです。

上のおばあちゃんは、こしがいたいのでかわいそうです。でも、

こしがいたいのに、げんきだよ。こしがいたいのに、まいにち、あさ、わたしたちとおちやをのんでいるよ。ごはんをたべるときは、あまりたくさんたべられないみたいだけど、

「こんなにおいしいごはんがたべられて、しあわせだよ。」

と、にこにこしながらいいいます。トイレにいくときも、一人である

いていくことができます。すごいなあとおもいます。

こしがいたくても、こんなになんばっているおばあちゃんを見てみると、「こしがいたいおばあちゃんに、わたしは、なんにもできないんだあ。」とおもふことがあります。

でも、このまえの休みのとき、おばあちゃんに、しょうじょうを

つくってあげました。白いかみに、「ゆりかもがんばるから、おばあちゃんもがんばってね。」とかききました。まわりには、ほしやハートのもようをかきました。かみをまわめて、ピンクのリボンでとめました。しょうじょうをわたしたらおばあちゃんは、

「ありがとうね。ほんとうにありがとう。」

と、やさしいこえでいつてくれました。おばあちゃんがよろこんでくれたので、わたしうれしくなりました。

なつ休みに、はくばへりょうへ



おかあさんとはじめてのバドミントン

桐島小二年 かせ えり子

十一月二十六日に、ふくしセンターで、おかあさんとバドミントンをしました。

友だちとやったことはあるけど、おかあさんとしたことはありませんでした。

わたしは、たのしみだなあとおもいました。

まず、おかあさんが、先にうちましました。

わたしもつづけてうって、また、おかあさんもつづけてうちました。でも、そのつぎのわたしのばんのとき、わたしは、うてませんでした。

こんどは、わたしが先にうちましました。

なかなかうてなかったの、わたしは、

「おかあさん、やってみて。」

と言いました。

「やっぱり、おかあさんはうつのがじょうずだなあとおもいました。だから体そうとかスポーツがじょうずなんだなあと思いました。」

何回もやっていたら、わたしもじょうずになってきました。

つづけて、じょうずになってきました。

いっしょうけんめいうっていた

ら、だんだんあせが出てきました。ちよつとだけ、あつくなくてきましました。

でも、わたしは、もつとじょうずになりたいから、おかあさんとバドミントンをつづけました。

おかあさんとしていたら、うまくうてなくても、たのしくなってきました。

そして、うち方も、じょうずになってきました。だから、もつとたのしくなってきました。

やつと五回つづけてうてるようになりました。

とつてもうれしかったです。

十回うてるもつとうれしかったです。けれど、わたしがなかなかうてなくて、十回もうてませんでした。

でも五回つづけてうてたから、うれしかったです。

それに、おかあさんと、はじめてバドミントンをしたのに、五回つづけてうてたので、わたしはわたしとおかあさんはすごいなあと思いました。

毎日、おかあさんと、バドミントンをしたいです。

おかあさん、日曜日でもいいから、バドミントンをしたいです。とつてもおもしろかったです。



おじいちゃんの手つだい

島田小二年 くすみ はるか

この前の日曜日、わたしは、おじいちゃんと弟のまさるといっしょに、はたけに長いものをほりに行きました。

おじいちゃんは、はたけに行く前に、

「先に行くからあとで自分で車にのつてこい。」

と言いました。わたしと弟は、

「うん。」

と言いました。それで、おじいちゃん、わたしたちよりも先に車にのつてはたけに行きました。わたしは、どんな長いものがとれるのかとてもたのしみでした。ごはん

を食べてから、長ぐつをはいてはたけに行きました。

はたけについて、わたしは、おじいちゃんが長いものをほっているのを見ていました。見ていると、おもしろそうだったので、わたしは、おじいちゃんに、

「ほりたいなあ。」

と言いました。おじいちゃんは、

「あとでな。」

と言ったけど、長いものをほつてみしました。はじめは、小さいものが出てきたけれど、だんだん大きいものが土の中から出てきました。見ていると、かんたんそうだった

けれど、なかなかいいものが出てこなくてたいへんでした。

わたしと弟が、さかになつてるところでおりてあそんでいる間も、おじいちゃんは、いっしょうけんめいにしごとをしていました。

おばあちゃんもはたけにきました。わたしは、おばあちゃんがつたねぎを何本かぬいてみました。手つだいをしてみ、おじいちゃんやおばあちゃんは、たいへんなんだということがわかりました。わたしは、おじいちゃんやおばあちゃんのように毎日しごとをしていたら、つかれるだろうなあ

とつてもたのしみです。

わたしは、おばあちゃんに金メダルをつくってわたしました。こしがいたいおばあちゃん、わたしとちとりよこうにいけないので、うちでおるすばんです。だから、おばあちゃんがさびしくないように、メダルをつくりました。

金いろのかみに、ラッコやパンダやさるをかいて、シールもはりました。そのメダルを、おばあちゃんにわたすと、

「もう、そんなに、おばあちゃんのことをしんばいしなくていいんだよ。」

と、いいました。でも、わたしは、おばあちゃんにこにこしたかおがみたいから、もつともつとつづけてあげたいとおもいます。

このまえの、木よう日のことです。おばあちゃんは、こしがいたくて、びょういんにゆういんしてしまいました。わたしは、おばあちゃんがないと、とてもさびしいです。

わたしのいえは、八人かぞくだから、早くおばあちゃんうちにかえってきて、八人かぞくにもどってほしいとおもいます。

「おばあちゃんのおおを、大きなかみにかいてまつているから、おばあちゃん、がんばってね。」

いっしょうけんめいうっていた

かとてもたのしみでした。ごはん

つかれるだろうなあ

思いました。

また、わたしは、おじいちゃんのところへ行きました。おじいちゃんに、

「にんじんほっていい。」

と聞きました。おじいちゃんは、

「少しだけぬいていいぞ。」

と言いました。ぬく時は、大きいのがぬけるといいなあと思いましたが、ぬいてみたら、大きいにんじんとおもしろいにんじんがぬけました。

そのあと、かぶもぬいてみたけれど、とてもおもしろかったです。だけど、ふくや長ぐつがどろだらけになってしまいました。たくさん野さいをぬく手つだいをしたので、とてもつかれました。

わたしは、おじいちゃんやおばあちゃんみたいになりたいへんなことはしたくないなあと思いました。おとなになるとたいへんなしごとがふえるから、たいへんだなあと思いました。

おじいちゃんやおばあちゃんの手つだいをした、たいへんなことがよくわかりました。おじいちゃんやおばあちゃんは、つかれてかわいそうだなあと思います。わたしは、おじいちゃんやおばあちゃんの手つだいをいっぱいしてあげたいなあと思います。



私の家族

私の家は、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お姉ちゃん、弟、私の七人家族です。みんな、いろいろなし事をしていて、すこいなあ、たいへんだなあと思います。

私の家は、美よういんで、お母さんとおばあちゃんは、美ようしをしています。かみの毛を切ったり、かみの毛をあらったり、パーマをかけたりして、毎日、いそがしそうです。朝の七時から、夜の八時まで、ずっとはたらいています。たまに、すこし事がいそがしいと、朝からごはんの後かたづけができなかったり、せんたくができなかったりします。だから、そんな時は、私やお姉ちゃんが手つだいをします。ときどき、お店に行つて、パーマのほうや紙やゴムをあらつてあげることもあります。それに、お母さんが、おきやくさんにパーマをかけてあげる時に、紙やゴムをわたすお手つだいをしたこともあります。

おばあちゃんは、よその人に、着物を着せてあげたりしています。着物のおびをとてきれいにむすぶので、私は、「すこいなあ、上手だなあ。」と思います。お母さんの。あの時どんなだった。」

お母さんが、「起きてみると寒くなるから、うつぶせてねていなさい。少しは楽になるから。」

と言った。お母さんはむねをさすつてくれたり、水を持ってきてくれたりした。でも、苦しくなるばかりだった。とうとう、病院に行くことになった。病院に着いたら、夜きんのかんごふさんがやさしい声をかけてくれた。少しほつとした。きゆうにゆうをした。ふしぎなことに体がすうつと楽になってきた。その日は家に帰ることができた。それからぐつすりねむることもできた。

でも、次の日、またほつきがじまった。きのうのように体中が苦しくなってきた。お母さんたちが起きてきて、いろいろ手当てをしてくれました。でも苦しいのはおさまらない。けつきよく、病院に行くことになった。先生にみってもらったら、

「入院をしたほうがいいね。」と言われた。お母さんの心配そうな顔を見たら、わたしも何だか不安になってきた。

入院してからは苦しくなることはあまりなかった。だんだんたいくつになってきて、家の人に、わがままやもんどを言ったりした。そんな時、お母さんは、「また、苦しくなつたらどうする



が、人に着物を着せているところを、まだ見たことがありません。お母さんは、人形を使って、着物を着せたり、おびむすびの練習をしたりしています。それを見て、私は、「たいへんだなあ。」と思います。

お父さんは、ガソリンスタンドにつとめています。前は、八時三十分には、し事から帰つて来て、ごはんを食べながら、私たちと話をしたり、絵をかいたりしてくれましたが、さい近は帰りがおそくて、私たちがねむつてから帰つて来るので、あまり話をする時間がありません。本当は、たくさん話

をしたいのに、できないので、「いやだなあ。」と思います。たまに、お父さんのし事が休みになると、私は、うれしくなります。なぜかと言うと、朝は、私たちが学校へ行くまでねむっているの、あまり話もできませんが、学校から帰つて来ると、いっぱいお話をしたり、テレビゲームをしたりしてくれるからです。そんな時のお父さんは、とてもやさしいので、大きいです。

あるばんのこと、急にぜんそくのほつきがでた。とても苦しくなつてきて、息がだんだんつまりそうになつてくる。体の中から「ゼーゼー」という音が聞こえてくる。ほつきははじめてではないけど、苦しくて、苦しくて、思わずむね



ぜんそく

「早く、だれでもいいから助けて。」と言った。いっしょにねていたおばあちゃんが、心配して起きてくれた。「だいじょうぶかい。」と、声をかけてくれた。わたしが苦しうにしているのを見て、せなかをさすつてくれた。でも、わ

たしがいつまでも苦しうにしているのを見て、お母さんをよびにいった。お母さんが走ってくる足音がした。わたしはお母さんの顔を見たら安心したのか、少し楽になつたような気がした。でも、ちよつとすると、また苦しくなつてきた。

島田小三年 中村 仁美



楽しかったトリムハイキング

「やつたー、トリムハイキングだあ。」

今日は、五月七日、日曜日。ぼくとお父さんと弟の三人で行くトリムハイキングの日です。朝、九時に福祉センターを出て山田海岸に行くのです。お母さんがおにぎりを作ってくれました。

福祉センターに行つたら、もういっばい来ていました。ゼッケンをもらつて、お父さんがつけました。あと、地図と名簿をもらいました。それで、ぼくはどんな友達か来ているか見ました。知っている人も、いっばいいました。

桐島小四年 阿部 文孝





苦しそうと喜びのまじったいねかり

島田小四年 大倉 佑太

ぼくは、この日を首を長くして待っていました。どうしてかという、晴れたらいねかりをするこ

「いねの高さを見てるんだ。」と教えてくれました。ぼくは、「いいこと聞いたなあ。」

朝起きて、空を見ました。天こうは、晴れ。いねかりができます。いねは、たおれていますが、こがね色に光っています。ぼくは、すぐに着がえてお父さんといっしょ

と思いがらコンバインがいねをかる所をじつと見ていると、何だか目が回るような速さでした。さらに耳をこらしていると、いねをかるためのカッターが、「ガジャツ、ガジャツ。」

コンバインのカバーをとりました。最初に、おじいちゃんがエンジンをかけました。

そんなことをしていると、お父さんが、「一輪車で米が入っているふくろを持ってこい。」

「ガガガガードー。」

と、エンジンがうなりをたてました。コンバインも一年間じつとしていたのでよるこんでいるようです。おじいちゃんが運転台に乗って、ぼくとお父さんは、ふくろをおく所に乗って田んぼにむかいました。

と言ったので、急いで運ぼうとしましたが重くてなかなか前に進みません。それでもいっしょけんめいにおしてやっとなんか行けたと思ったら、今度はおじいちゃん

田んぼに着いたら、それまで笑って話し合っていたおじいちゃんとお父さんの顔がいきなりかわりました。かる時になると顔がいっ

「かどにあるいね、かっどくれ。」とぼくに言いました。いねをかり終わって見ると、おじいちゃん

そう真けんになりました。おじいちゃんとお父さんは、かられていくいねをじつと見えています。ぼくがどうしてかと聞くと、おじいちゃんとお父さんは、

お父さんは、もみがいっばいになったら、コンバインからおろしてあぜまで運んでいます。秋晴れのいい天気で、みんな首にタオルをまいて、汗だくです。

超大型犬というだけあって、とても大きいです。

できたのがきつかけです。太郎は、ぼくの家で三日間ぐらい遊んだり、ねたりしていたけど、おばあちゃんの家にひきとられて

ネネは、冬が大好きです。これから冬にかけて、ネネとたくさん遊んでやりたいと思います。今年の十一月には、新しいなかも加わりました。しば犬の太郎

そのほかにネコが二ひきいます。この二ひきもわが家の家族です。このように、ぼくの家には、いろいろな動物がいます。夕食の話

おじいちゃんは、「大人になったら耳が立つ。」と言ってるけど、姉さんは、「大人になっても、耳は立たないんじゃない。」と言っています。

ぼくの家は、一日一日楽しいです。ぼくは、こんな自分の家の動物

太郎がぼくの家に住みつくようになったのは、ネネの散歩につい

た。太郎は、ぼくの家で三日間ぐらい遊んだり、ねたりしていたけど、おばあちゃんの家にひきとられて



おじいちゃんの田んぼ

島田小五年 片桐 弘造

ぼくは五月に、おじいちゃんと妹といっしょに田んぼの草取りをしました。

お昼ごはんを食べたあとも、また田んぼに入っていました。どんどん草を取って、やっとなつ目の田んぼが終わりまし

ズボンをめくって、はだいで田んぼに入っていました。おじいちゃんは、

「おじいちゃんに負けないように草を取るぞ。」

「ありがとう、手伝ってくれて。」と、とても喜んでくれました。

「下になにかあるよ。」

ぼくには、苗と草の区別がつかせせん。いろいろな草が生えていて、取るのが大変でした。草を取っていると、だんだん足が冷たく

なっていて、やめたくなりました。でも、おじいちゃんを見ると、あせを流しながらだまって草取りをしていました。ぼくは、

た。お昼ごはんを食べたあとも、また田んぼに入っていました。どんどん草を取って、やっとなつ目の田んぼが終わりまし



が大好きです。

おじいちゃんとお父さんがゴミを洗い流して、シートをかぶせて小屋にもどしました。また来年になるまで、長い休みに入りました。ぼくは、



ぼくのまわりの動物たち

桐島小五年 加勢 健吾

「こいつがいけない時は大変だったんだらう。」

馬の名前は、母親のほうが「ママ」、子馬のほうが「ヒミコ」という名前です。

「こいつがいけない時は大変だったんだらう。」

馬の親子がぼくの家に来たのは、ぼくがまだ一年生の時です。ぼくと姉さんが、「馬がほしい、馬がほしい。」

「こいつがいけない時は大変だったんだらう。」

犬は、ネネという名前です。昨年の五月のすえに、北海道のムツゴロウ王国からきたのです。ネネは、とてもかわいいけど、やんちゃで、やきもち屋の犬です。ネネの特ちょうは、とても大きいことです。

「やっばり、うちの田んぼのことはおじいちゃんが一番よく知っているなあ。」

ん命がんばってくれているのだと思います。ぼくの家にとつて、おじいちゃんではなくてはならない人です。特に田んぼは、おじいちゃんがいなくてやっとなつ目の田んぼが終わりまし



「こいつがいけない時は大変だったんだらう。」

「こいつがいけない時は大変だったんだらう。」



理想の家庭をめざして

桐島小六年 菊地 洋平

家族のみんなが、いつまでも仲よく協力して暮らせる家庭、それがぼくの理想の家庭です。

ぼくの理想の家庭は、とても平ほんなものです。しかし、簡単なようでむずかしいことだと思えます。なぜなら、これはあたり前のことだと思っても、こういう家庭を持っている家は多くはないと思うからです。

そして、今までの自分をふりかえってみると、とても協力できたとは言えません。なぜなら、ぼくの家族はみんながそれぞれ決まった家の仕事分担をもっているのに、ぼくは、何も自分の仕事がありません。たまたま、家族に言われて仕事を手伝う事があるくらいです。だから、ぼくも、自分の仕事を作って、家族のためになることをしたいと思っています。

そんな我が家の良いところは、家族が多い事です。どうしてかと言くと、家族は多ければ多いほどにぎやかで、楽しい家庭になると思っているからです。

多くの家族は、全員で八人です。その八人全員がそろう時は、食事の時です。たまに、そろわない日がありますが、だいたいの日が家族全員がそろいます。

カボチャもトウモロコシも甘味があり、とてもうまい。

また、父は、いろいろな事に挑戦する。

この前は、山古志村からアノの木を何本も切ってきて、家で炭焼きをやってみた。炭焼きをしている土からは、何日もの間、絶え間なく白い透明な煙がゆらゆらと出ている。できあがった炭は、縄文人が使った石器のように黒く、日光に当たってきらきらと輝いた。「きれいだね。」

と思わず、ぼくがつぶやくと、「本当だな。なんでこんなになるんだらう。不思議だなあ。」

父は、知識を教えてください。そして、挑戦してつかんだ感動をほかに伝えてくれる。

日曜日の朝に植えた球根は、芽を出し始めた。

ぼくは、植えながら、父が「この球根は、花になると、とてもいいにおいがするんだよ。」と教えてくれたことを思い出した。どんなにおいがするのだろうか。きれいな花を咲かせたら、数本切り花にして、御飯のテーブルにかざらう。そして、家族のみんなに、父から教えてもらったことを話してあげようと思った。



族全員がそろいます。

ぼくは、家族全員がそろう時間があったとても良かったと思っています。それは、家族との仲がもっと良くなり、家族のことをもっと知る機会が増えると思うからです。八人も家族がいると、全員がそろう時間が少ないので、全員がそろうだらんの時間もたまには作りたいです。

家族が多いと、良い所もありますが、悪い所もあります。それは、自分の部屋がないことです。大人は、ちゃんと自分の部屋があるけれど、ぼくは兄弟と部屋が同じなのです。自分もふくめて兄弟は三人なので、三人が同じ部屋だとおたがいの物がまぎってしまうことがあります。

だからぼくは、自分の部屋が前からほしいと思っていました。でも、家族が大勢いればがまんしなければならぬこともあります。だから、楽しい家庭のためなら、少しくらいがまんしていきたくいです。

ぼくにとっての我が家とは、なくては生きていけないものだと思います。もし、家庭がなかったら家に帰っても、だれもいなくてさ

びしいし、なにか困った時に相談にのってくれる家族もいないので、とても一人では生きていけないと思います。

これからの家庭を大切に、理想の家庭を作るように、ぼくも協力したいと思います。そして、いつまでも家族が元気でいてほしいと思います。



父に教えられたこと

島田小六年 山口 順平

日曜日の朝、父といっしょに水仙の球根植えをした。ぼくは、家の畑で花を育てた経験がなく、どういうふうに植えたらよいかわからなかった。

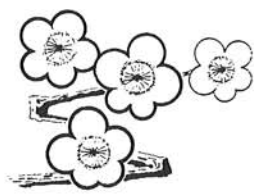
父は、トラックの荷台から、球根の入ったダンボール箱を降ろしてきた。そして、何やら四角い穴がいくつも空いたダンボールを開いたものを持ってきた。

「それ、何に使うの。」とたずねると、父は、「これかい。球根を植える時、間隔をとるために作ったんだ。」と教えてくれた。ぼくは、なるほ

どなあ。この道具を使えば、大きくなって花が咲いた時、花がきちんと一列に並んで、きれいに見えるだろうなと思った。

それから、二人で植え始めた。ダンボールの穴に球根を置いて、そっとダンボールを取り、土の中に押しこむ。何度か押しこんでいるうちに、指先が痛くなってきた。「この土、固いね。」

「この前、トラクターでうったばかりだけど、それから雨が降って今日晴れたから、固くなっちゃったんだな。」と父は答えてくれた。ぼくは、雨



が降ったのなら、土はもつとやわらかくなるんじゃないのかなと思ひ、また聞いてみた。

「耕せば、空気が入って、土はふつくとやわらかくなるけれど、雨が降れば、ぬれた土の重みで空気が押しだされるだろう。そのうえ晴れたから、よけい固まってしまったんだよ。」と教えてくれた。これもまた、なるほどなあと感じてしまった。父は農業改良普及員だ。「農業改良普及員」は、農業について研究を深め、技術指導を行う人達だ。父は家でも作物を作っている。



私が尊敬する人

北辰中一年 小黒 深幸

私が尊敬する人。考えてみると、大勢の人がうかんできてる。まず、自分のできないことができる人、心の広い人、何があってもやり通すことのできる人、そして何でもできる人。あげればきりが無いほど、私には尊敬する人がいる。その中には、もちろん家族も入っている。そこで私が特に取り上げたのは、母。

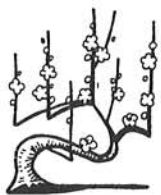
私の母は、長岡にある病院の看護婦をしていて、夜れない日もしょっちゅうある。日曜日が休みなどとは決まっていなかった。買い物などもあまり行けない。中学に入って、部活などのために、ますますその機会も減るばかり。しかし私は、そんな仕事を選んだ母をうらんだりもしない。小さい頃はさみしかったし、めったに出かけられず残念に思うこともあるけれど、いくらうらんでも、どうしようもないことだ。

話は変わって数週間前、私は母と、少し用があったので病院に行った。私は病院なら数回行ったことはあるが、母の病棟を見るのは初めてだった。一体、どんな所でどんな人達と働いているのだろうか。母の病棟へ行って数十分。用を終

えて、帰るのかな、と思っっている。と、ある部屋に入ってしまった。私の方をむいて手まねきしている。入ってみると、一人のやせ細った老人が、ふとんに横になっている。そのとなりに、その老人の妻らしき老女の姿も見えた。そして母がかがんで、老人に問いかける。「おじいちゃん、元気？ 痛い所は？」

私はおどろいた。いっしゅん、母が別人に見えたからだ。うまく言い表せないけれど、何か生き生きしていた。老人に話かける一言一言が、私の心に響いてきた。すぐいつもの顔にもどってしまったけれど、いっしゅん見せたあの顔が、母の仕事中の顔なのかもしれない。もし本当にそうなら、私はうれし。母が生き生きできる時間は、きつとそこにある。私はそう思う。だから、いくら忙しくても決してへこたれず、がんばっている母を見て、私は尊敬せずにはいられない。その気持ちは、ずっと変わることはないだろう。そして、母には、ずっと生き生きと仕事をしてもらいたい。それが私から母への願いである。

誰か一人からでも尊敬される人になること。尊敬するものもされるのも良いことだと思ひ、目標に向かってがんばることも、とても大切なことだから、私はこれからもがんばっていききたい。そして必ず、目標を達成したい。





母の仕事

北辰中二年 大矢 美枝子

「私も手伝う！」
母が会社の仕事を家に持ってくると必ず言う。家の手伝いはしない私だが、これだけはだいたいする。迷惑をかけたこともあったけど「助かったよ」と言われるとやめられない。

母は、会社で出来なかったことや頼まれた物を持ってきて家でしていく。母の仕事は、たくさんあるがその中での分担では、スポンジを機械でいろんな形に切って、切った部分を手で取るという仕事だ。他にもするが、家にはよくこれを持ってくる。だから、機械に手をはさんだといつて帰ってきたこともある。

家に持つてくる時はだいたい次の日が休みの日だ。休みの日までしなければならぬほど多く持つてくる。会社の人みんな持つて帰るらしいが、一人ですると大変だろうなとつくづく思う。

母の仕事はこれだけではない。家の仕事は母の仕事と決めているわけではないが、ほとんどしてかれる。会社の仕事があるうが、出かける前であろうがご飯を作ってくれていたり、着がえを出してくれていたりしてすぐ助かる時がある。

ある。私が小学校の時は、自分から家の手伝いをしたのに、この頃頼まれてもしくなってきた。その分、母の仕事や家族の仕事が多くなっているのに気づいた。

ある日、父が、「自分で動くようにしよう。」と言ってきた。その日から自分のことなどに頼まなくなったがそれもつかの間、やはり母に頼んでしまうことが多くなった。もう中学に入って二年目なのにと思うのにやはりだめ。自分のなまけ心に負けてしまう。休みの時など特にそう。何でもかんでも、ゆつくりのそのそ。「せっかくの休みなんだから」と朝起きるのも遅く、夜寝るのも遅い。そして学校になるとドタバタ。父や母によく言われ、返事はするものの一回なまけるとだめになる。そして、朝、母が会社に行くのも遅くなる。そしてその日からまた、母の仕事が増える。

小学校に入る前から母のようになりたい、お母さんってすごいなと思っていた。でも、今の私では母が当たり前としていたり、仕事はできないと思う。「勉強やだな。早く社会人になり

たい。」と小学校の時に言った覚えがある。でも母は、「会社に入ると大変だよ。人とのつき合いもあるし。」と言ってきた。そんなに大変とは思わずに言っていたんだなと今思う。だから、母や家族の仕事を増やさないようにしようと思う。知らず知らずのうちに母の仕事



父を目標に

北辰中三年 長谷川 都哉子

「リラックスノリラックスス!!」
忘れもしない、七月二十六日。剣道の県大会、予選リーグ一回戦目が終わった時、父が私に向かってやってくれた、ジェスチャーだった。大きく息を吸って吐く。肩に手をあてておろす。私は、それが何のジェスチャーか分かった時、ちよっぴり泣いてしまっそう、大きくうなづくことしかできなかった。——結果は、予選リーグ突破。決勝トーナメントへ進み、県でベスト8に入った。上の大会へ進めなかった私に、父は、

「これが今までやってきた結果だ。悔しかったら、これをバネにして高校に行つてがんばってみろ！」
と言ってくれた。こんな大きいことを言ってくれた父が、実は、私の試合を見に来てくれたのは、初めてだった。ちよっぴり泣いて、父の会社が表彰されることになっていて、東京まで会社の代表として、行かなければならなかったのに、「自分の娘の中学校生活最後かもしれない試合を、見ておきたい」と言って、他の人にかわって

達の手伝いをしたり、家で父や妹のものを手伝ったりしようと思う。もちろん自分のこと、勉強などもしっかりするが、前に言ったように自分のことは自分でする、人にまかせない、母の仕事、父、妹、友達などの仕事を手伝ってあげようと思う。そして、自分のこと、勉強などもしっかりしようと思う。

最後に、今までなまけて自分のことを人に頼んでばかりで悪かったと思う。特に母には迷惑をかけたばかりですみませんでした。

「常には、まわりの人に感謝すること」
一人では、何もできないこと

話が変わるが、自分で言うのも変かもしれないけれど、私の父は尊敬できる人だと思ふ。私はその父から、たくさん大切なことをおそわった。

「友達は、一生の宝物」
「自分にうそをついてはいけないこと」
その他、十四年間で、たくさんのことを学んだと思ふ。けれど父が、本当に私に言いたかったことは、
「人間は目標がないと、生きていけない」
ということだと思ふ。私の目標は、「全国大会に、出場すること」だった。けれど、その目標は、達成できなかった。今までの私だったら、たぶんここであきらめていただろうと思ふ。けれど、あきらめなくてもいいんだ、また、その目標を高校へ行つて、果たせばいいんだ、と思ふようになったのは、父のおかげだと思ふ。どんなに小さな目標でもいい、それを達成しようという努力は、自分にとってマイナスになるといふことはないのだから。そして、その目標のために、今何をすればいいのか常に頭の中に入れておくこと。これは、父との一生の約束になるだろう。

私の父。それは、ガソリンスタンドで働いている人であり、ただのおやじでもある。地球上の中のたった一人ではない父は、この世でたった一人しかない、私の父である。そんな父のことを、私は尊敬する。どんなにえらい人よりも、自分の父を誇りに思う。でも一つだけ、父のキラいな所、そ



毎月 第三日曜日は 「家庭の日」





わし麻呂くんの部屋

～生涯学習情報～

わし麻呂くん



第3回

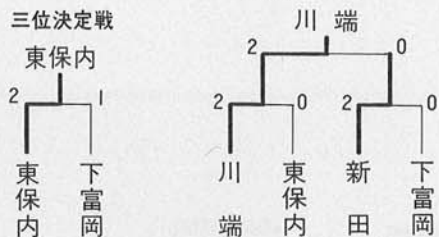
村民ソフトバレーボール大会

11月26日(日)、公民館主催の村民ソフトバレーボール大会が10チームの参加により、勤労福祉センターで開催されました。大会は、予戦をリーグ戦で行った後、ベスト4チームにより決勝戦を行いました。結果は次のとおりです。

優勝 川端チーム
準優勝 新田チーム
第三位 東保内チーム



決勝トーナメント



第18回

村民バドミントン大会

12月3日(日)、体育協会主催の村民バドミントン大会が、小学生から一般までの14名の参加により、勤労福祉センターで開催されました。大会は、一般男子の部・一般女子の部・中学生男子の部・小学生の部で、それぞれ熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

- ◆一般男子の部
 - 優勝 平澤 明
 - 準優勝 久須美俊郎
 - 第三位 山田 雅彦
- ◆一般女子の部
 - 優勝 久住 洋恵
 - 準優勝 日木さち子
- ◆中学生男子の部
 - 優勝 布施 裕和
 - 準優勝 本合 隆浩
 - 第三位 星 清人
- ◆小学生の部
 - 優勝 大宮 博樹
 - 準優勝 日本 忍
 - 第三位 久須美さやか



式 講 閉

少年教室

12月9日(土)、ゆきわり荘において、少年教室の閉講式が行われました。

サツマイモ作り、陶芸教室、スケート教室、ゆきわり荘での事前宿泊研修、そして福島県の国立磐梯青年の家でのキャンプ等、いろいろ思い出ができました。

閉講式では、一人一人に修了証が渡され、それぞれ思い出の作文を書き、楽しかった一年間を振り返っていました。



英会話教室

5月から始まった英会話教室も11月27日の閉講式をもって無事終了いたしました。

6ヶ月間の教室でしたが、途中講師が、ローザ・ロベス・ソレッツィー先生からギャビン・フィリップ・ラウチ先生に変わりましたが、和やかな雰囲気の中で本場の英会話にふれることができ、受講生の皆さんも大変満足した様子でした。教室終了後、先生を囲んで茶話会が行われました。来年も英会話教室を開講する予定ですので、多くの方から受講していただきたいと思っております。



スケート教室

(少年教室)

少年教室では11月23日(祝)、県立柏崎アクアパークを会場にスケート教室を行いました。

朝、小島谷駅から電車に乗り柏崎へ……。日頃電車に乗る事があまりないためか、みんな楽しそうに外を見たり、友だちと話しをしたりしていました。

スケート場に着き、講師の人から一時間指導していただき、初めは転んでばかりいた人も、一時間後にはスイスイと滑れるようになりました。その後、自由滑走となり、友だち同志で楽しそうに滑っていました。心配していた雨も、それほどではなく、楽しい一日でした。



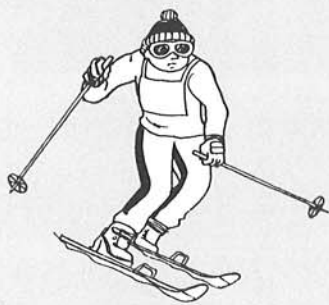
村民スキーツアー

in 五日町

参加者募集!!

公民館主催の村民スキーツアー in 五日町を計画いたしました。皆様の参加をお待ちしております。

- ◆期 日……1月28日(日)
- ◆会 場……五日町スキー場
- ◆募集定員……80人(定員になり次第締め切ります)
- ◆参加料
 - 大人……二、五〇〇円
 - 高校生……二、〇〇〇円
 - 小・中学生……一、五〇〇円
 - 幼児……一、〇〇〇円
- ◆申込
 - 1月10日(水)までに公民館へお申し込み下さい。
 - ※詳しくは、公民館(教育委員会)へお問い合わせ下さい。



北辰中二年生による
わしま村PRポスターを

展示

生徒さん達の目で見たら、村の一番と思うものをポスターとして描いてもらい、その作品を良寛の里の回廊に展示してあります。
作品はスペースの関係上、昨年の十一月から今年二月までの間、二回程度にわけて展示いたします。
生徒さん達の「わしま」を思う強い気持ちがいしひしと伝わってくる力作ばかりです。この機会に是非、良寛の里まで足を運ばれて、作品をご観賞ください。



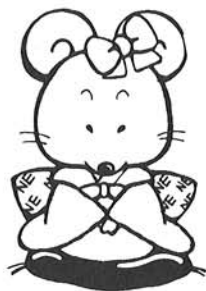
第十回
村老連
ゲートボール
大会

十一月二十一日火、屋内ゲートボール場において、出場十一チームによる白熱した試合が繰り広げられました。
成績は優勝「生長会日チーム」、準優勝「老寿チーム」で、それぞれにカップと賞状が手渡されました。おめでとうございます。



青年夢来

おらがむらの出来事



今年はエアーマットをプレゼント



夢来おこしふれあいツアー

11月24日～26日、「青年夢来おこしふれあいツアー」が行われました。

今年は30名の参加で、東京ディズニーランドと浅草の東京今昔ツアーでした。

メンバーも多少変わり、24日夜に役場を出発。バスの中では、会話が弾み、なかなか寝れなかったようでした。

ディズニーランドでは、グループ毎にお目当てのアトラクションやパレードを見て楽しみました。翌日は、東京の下町浅草を見学しましたが、人の多い事にはビックリしました。

天候にも恵まれ、笑いあり、涙あり?の感動の3日間でした。



青年夢来では、今年も「生涯学習フェスティバルinワシマ」チャリティイベントの収益金で、社会福祉協議会（会長久須美村長）へ床ずれ予防用エアーマットを寄贈いたしました。
青年夢来の寄贈も今まで車イスを六台寄贈し、今年のエアーマットで青年夢来の社会福祉協議会への寄贈も六年目となります。村内の身体の不自由な方々に利用していただければ幸いです。

いつぱいたべて 大満足

もちつき大会
保育所

十一月三十日(休)、保育所では「もちつき大会」が、子ども達の祖父母の皆さんを招き開かれました。
大きなうすをまん中におき、おじいさん・おばあさん達も参加され、もちをつきました。子ども達は周りで「よいしょ、よいしょ」の大声援。もちがつき終わると、興味深そうにうすの中をのぞいていました。
つきあがったもちは、「あんこもち」と「きなこもち」にしてお雑煮とともにこの日の給食となり、ひとあし先にお正月気分を味わいました。



1月の救急診療のご案内

1. 休日の救急診療

		内科	外科	小児科	産婦人科	歯科
1日祝	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	斉藤医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	立川総合病院	立川総合病院	立川総合病院	中央総合病院	
2日(火)	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	小林医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	立川総合病院	
3日水	昼(午前10時～午後3時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	丸岡医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	中央総合病院	中央総合病院	中央総合病院	長岡赤十字病院	
7日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	トマト・レディース・クリニック	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	中央総合病院	
14日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	杉本医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	中央総合病院	中央総合病院	中央総合病院	立川総合病院	
15日祝	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	山口医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	立川総合病院	立川総合病院	立川総合病院	長岡赤十字病院	
21日(日)	昼(午前9時～午後6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	明石医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	長岡赤十字病院	中央総合病院	
28日(日)	昼(午前9時～午前6時)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	長岡休日急患診療所(健康センター内)	斉藤医院	長岡休日急患診療所(健康センター内)
	夜(午後6時～)	中央総合病院	中央総合病院	中央総合病院	立川総合病院	

* 歯科の救急診療は午前9時～午後4時までです。

2. 平日夜間の救急診療

曜日	月曜日及び木曜日	火曜日及び金曜日	水曜日及び土曜日
診療科目	外科	外科	外科
病院名	長岡赤十字病院	中央総合病院	立川総合病院

- ◇お問い合わせは……
長岡市健康センター内
(長岡市西千手2丁目5番1号)
- 長岡市休日急患診療所……☎35-8255
 - 長岡休日急患歯科診療所……☎33-9644
 - 長岡市市民部健康課……☎32-5000
 - 長岡市医師会……☎32-1900
 - 長岡市歯科医師会……☎32-1430

今月の納税・納入

- ※ 村民税……………第4期分
- ※ 国民健康保険料……………1月分
- ※ 国民年金保険料……………1月分
- ※ 幼稚園保育料……………1月分
- ※ 保育所保育料……………1月分
- ※ 水道使用料……………1月分

※口座振替の方については、納期限3日前より振替させていただきます。

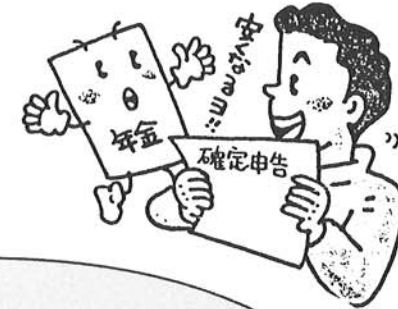
お知らせ

物価スライドします

国民年金の年金額は、毎年物価上昇にあわせて引き上げられますので、目減りすることはありません。



税金が安くなることがあります



国民年金の保険料は、全額が所得控除の対象となります。年末調整や確定申告を行うときに、忘れずに申告してください。

年金 ちょっといい話

3年以上保険料を納めている人は、住宅金融公庫と併せて住宅資金の貸付が受けられます。また、すでに年金を受けている人も、その年金権を担保にお金を借りることができます。



全国各地の温泉や景勝地にある国民年金保養センターが格安な料金で利用できます。

お金が借りられます

保養センターが安く利用できます

一月中の国民年金

- ◎60歳になる人
昭和十一年一月二日から昭和十一年二月一日生まれの人は、掛金を掛け終わりました。
老齢基礎年金の繰り上げ請求を希望する人は請求できます。
- ◎60歳以上70歳未満の人
受給資格期間を満たすことができない人、または過去に保険料の未納や免除があるため、掛け金をして年金額を増やしたい人は、任意加入することができます。
- ◎65歳の人
老齢基礎年金を請求しましょう。(繰り上げ請求した人は除きます。)
- ◎現況届を出す人
今月生まれの受給者は、現況届のハガキが郵送されてきたら、忘れないで証明を受け、自分で切手をはって出しましょう。
期間までに提出しない場合は、年金が一時差し止めになります。
ハガキを紛失した時は、国民年金係に申し出てください。

グリーンヒル与板 職員採用のお知らせ

老人保健施設グリーンヒル与板では、次のとおり職員採用を行います。

- ◇採用職種：看護婦(士) 准看護婦(士)
 - ◇採用人員：若干名
 - ◇受験資格：18才～50才くらいで看護婦(士)、准看護婦(士)免許をもつ者
 - ◇勤務地：老人保健施設グリーンヒル与板もしくは老人保健施設とらどまり
 - ◇採用予定年月日：平成8年4月1日
- 詳しくは、直接グリーンヒル与板(0258-7212500)へお問い合わせ下さい。





笑顔を育むお手伝い

いきいきライフ

生活福祉資金貸付制度

この制度は、事業を始めたい、進学が決まった、家族の急病、家を増改築したいなど、生活のいろいろな場面での必要な資金をご利用いただく制度です。



◎ご相談は
社会福祉協議会または民生委員まで

「冬の新潟」フォトコンテストのお知らせ

最優秀賞(1名)
賞金20万円
県外、レディス、ジュニア(高校生以下)の応募者には特別賞も用意しました。

- 「冬の新潟」フォトコンテストが行われます。あなたの自慢の写真を、ふるってご応募ください。
- ◇部門：①自然・風土 ②スポーツ ③祭 ④鉄道 ⑤味覚 ⑥とっておきの新潟
 - ◇応募規定：平成7年12月1日～平成8年3月31日までの期間に「冬の新潟」を撮影した作品で、各部門に該当する未発表のものに限りです。応募点数に制限はありません。
 - ◇サイズ：カラープリント四ツ切(ワイド四ツ切も可)
 - ◇応募方法：応募する部門名、題

- 名、撮影場所、氏名、年齢、職業(または学校名)、住所、電話番号を応募票または自作の応募票に明記の上作品の裏側に貼付してご応募ください。
- ◇締め切り：平成8年3月31日
- ◇審査：主催者が委任した審査員が審査します。
- ◇発表：平成8年4月下旬(予定)入賞者には直接通知します。
- ◇応募先：〒950-70 新潟県観光課「冬の新潟フォトコンテスト」係または県内の新潟フジカラー取扱写真専門店へ。

和島幼稚園 —入園願のお知らせ—



平成8年度の幼稚園の入園についてお知らせいたします。

- ◆入園できる子供は
平成2年4月2日～平成3年4月1日までに生まれた子供。
 - ◆受付期間は
1月17日～2月1日まで。
 - ◆提出場所は
幼稚園へ。
入園願の用紙と幼稚園に関する説明書は保育所を通じて子供の家庭へお届けいたします。
- ※不明な点は、次へ
●幼稚園 TEL 74-3668

和島保育所 —入所申請受付のお知らせ—



1. 入所資格
和島村に住所を有し、なおかつ家庭において保育が困難な状態にある乳児及び幼児
2. 定員 120名
3. 申請受付
(1)日時 1月17日(水) 島田地区 } 午前9時～午後4時
1月18日(木) 桐島地区 }
(2)場所 保育所・事務室
4. 申請方法
役場住民課又は保育所に申請用紙がありますので、必要事項を記入のうえ当日ご持参下さい。
5. 保育料
現時点では、平成8年度の国の徴収基準が決定していませんので、基準が決まり次第村の基準を作り、申請後それに基づき保育料を決定します。
《算定方法は、児童と生計を同じくする父母(祖父母が家計の主宰者である場合は除く。)の前年分の所得税額等の合計による階層区分による》
6. その他
不明な点は、役場住民課まで照会下さい。
(TEL 74-3111 内線255)

事件・事故が発生した時、犯人の早期検挙や被害者の救助など、迅速でかつ適切な処理が必要となります。そのためにも、110番通報を積極的に利用して下さい。なお、次のような場合はそれぞれ

- 110番 5つのポイント
- ①何があったか？(交通事故、泥棒、けんか)
 - ②いつ、どこで、目標は？(いまから何分前、何町、何ビル前)
 - ③事件事故の内容は？(けが人や事件事故の様子)
 - ④犯人は？(人相・人数・服装・逃げた方向など)
 - ⑤あなたの住所・氏名・電話番号は？(事件事故の関係)

◇事件・事故以外の相談ごとで、特に急がなくてもいい場合は…警察総合相談室を利用して下さい。
☎025-283-9110
または#9110
◇地理案内、忘れ物、拾い物等の用件は…最寄りの警察署へ直接連絡してください。

110番をする時、警察本部の通信指令室につながります。

与板警察署からのお知らせ

れ別のところへ連絡をしてください。

心配ごと相談員

地域	氏名	電話
駅前	塚田 善平	74-2118
東保内	大宅 博	74-3052
東保内	佐藤 照子	74-2303
城之丘	小林 豊一	74-2521
小谷	長谷川 秀郎	74-3575

十二月一日付で次の方々が、村社会福祉協議会長より心配ごと相談員に委嘱されました。
心配ごと相談員は日常生活において切実な悩みや、心配ごとを抱えておられる方の問題解決に向けて、親切に助言、指導いたします。相談所は毎週火曜日(当日が祝祭日の場合はその翌日)、ゆきわり荘において午前九時から正午まで開設しております。
相談は無料、秘密は固く守られます。
心配ごと相談所を地域の皆さんの身近なものとし、お気軽にご利用下さい。



紹介しまくす 新心配ごと相談員

